關係勅令を公布





なるのが人間で

三年の我が熾

でも所まさせ (不)組ひも思ふ 日でも長く自

數百萬人が實驗濟の

美神丸を御愛用下さい

素が掘への番公とのでいるだ。

内股の引吊り、逆上、頭痛

芯から疲れるこしけ

クく一冷へ込み

大当が、高く 大当が、高く には止んだ になかり。い をもなかり。い でやうに高ただ でやかすしい

匝

緍 作

1037



すねて見たのでのを買事番組し

代理店

くなつて、こと らず、矢鰭に冠 間の鳴きを覚え

用ひ、不鯱の方が

處女も安全和密に

III ON

お声は正に罹人蝦の美人と窶はれて を全年十七の、所にとより外に見え いとより外に見え 験屋の家族は正常版と創作と南 やの腹の渦を合 の幸福者に相巡 ての大世帯の一 自赤毛染 士博園若 製鑑任實

かり フカ野 超 フカ野 超 朝日新聞に記事搖般二月、東京、大阪日身、東京、大阪 式ろ 式 にも総罰安全、 を超さぬ ・ を超さぬ 累若の五大特長

所究研學化薬陽甲 **P.Ed.nin**R

舖本

進無星代 今二が木舗へ新聞名 を書いてハガキで申 交んで下さい、武菱 交換状長等一回以上 花段狀長等一回以上 木村甕房 • 新小甕房 堂進善內宮 部本

歌の要は子宮卵虫 の芯まで貼かす。 砂瓶にもならぬ、 砂瓶にもならぬ、

し見たいのがお

流れ鳥部を持し脱

良く効く一番安い藥

ば、かりそめ

ぬら治はで球隆

の様に質問してる の題がでも御用票 病院で効力試験中 要れることが出来でとんな感しい頃は、要れることが出来でしたな美質を入れている方は、子宮かによって治して頂き子宮さんないのは、子宮かによって治して頂き子宮とのでは、子宮が出来でしんな感しい頃は、

子寳に惠まれた體驗 長年の子宮病が治って

大律 恐續しゃ点

るけ溶グス

グネット的を導大大宗山の買うてした分 うと大学部のこっするものに直接の担 すで心中の第一部にんから掛か

を極視型に大師から奉天ゆき第 局では京城から君天ゆきの名み 時間遅れて出起した之がため歌道 み」の東容を収得するとになった 五列刑も特健して連延した「のぞ

行運轉休止 壁不通の 釜山行臨時急 京箋線二

参山の雨風は百州ミリといふ珍し 【季山間話】卅一日から一日への

で百五十三リの窓印、このため建一で百五十三リの窓印、このため建一なが、日出町、西町、上島町

(農芸) 毘訪】 卅一日朝から夕方ま

雄基もひどい

消防組織出で、防水中だが、陸川

釜山の豪雨

東海中部線では貨物列車が顕覆す

京釜線は勿禁で遂に立往生

気んに降雨中である

高哲、その他出動し無成、今なほら動心、全部不通、各両川増水し

第山電話 | 昨夜の豪雨で、晒す

なほ降雨中

道,就過,勿然所は午後一時前く | 臨時報急第八十八列申申膨戦を中 「開通、これで京笏間の水繁地帯は

なほ目下の南鮮の天候は(午明十一 各線とも危險

選下間レ 遊野決談した、職職協のミ干 - 日 | 水碗碗は總出跡して目下雞派中

西水が間の自動車は三十一日午前路に氾濫し雄忠、蘇連節及び雄志。

北白の各河川は約四尺の増水で近

頃に至つて耐小陸りとなつたが雄

羅津の被害著

人松水マッ(三)さんら一家五

午後八時現在の被害は次の通り

本窓園に得る使彼の呼び――「猴二」乗つて放園のわれらの耳に掘いた「かせてわれらの耳を強く打つが、いよ!(東京と決定して、B|目朝ベルリンからそのまふ電波に「と歐流にふるへた動き真気管が、いま!(東京と決定して、B|目朝ベルリンからそのまふ電波に「と歐流にふるへた動き真気管理が、いまりで、底後まで発酵出来た「栽造の遊びは非治なものであつた」「魚顔とロサンゼルス大食実り避りで、底後まで発酵出来た「栽造の遊びは非治なものであつた」「魚顔とロサンゼルス大食

自信は持つてゐてもヘルシンキの「相似をはじめ、ベルリン征蛇の役別決決定萬歲!八十パーセントの「ベルリンに清酷したわか釜良削品」 本決定の聲を聽く

京遊線小田 A 東海南部線護田 A 慶全南部線小田

一日左の如く祝旧を打つた し、多大の御龍力に對し補軽のオリムビック日本開催決定を認

伯林で奮闘し

6

副島伯に本社長祝電

感激あ

大館が東京にきまるや、老腦に神一南麦はは、光戦の地にも勝利の微一形態長等に抱へられるやらに述べ

まらない様子、けぶこの様びを送 放送とそ間きものであらうサーの早口も、とても続しくてた といふからいよく 変技明前後の サーの早口も、とても嬉しくてた一般能の模様を除へる鴻西アナウン 一放送け至く今までにない好成器

篠原D 区技術部長談

【ベルリン卅一月間盟】次期度第一日の勢力を賦け強した副島、蘇納「笑を類に浮べて職場から現れ、 島、嘉納兩委員は語る

我國に來るまで 脚は金銭景を築めて之れを開訴。

のため評批評価の関別を始め各様。て際域するかの問題は四ヶ年間の「クに備へることになつた成せしめる外に外國競技者の利便」度へと犯面する内外をを到何にし、資源に研究、来るべきオリムビアので原華な恒久能なものとして完」になる意識後である、東京へ、東京の地下ステーション等もので原華な恒久能なものとして完」になる意識後である。東京へ、東京の地下ステーション等もので原華な恒久的なものとして完善。「在社会少の車幅増加といることになった。」(級名、列車の監算者の地下ステーション等もので原華な恒久的で展示)

行でも十五萬、そのほかに魚回

二百萬圓、十二萬人、克洋一の競技場

千五百萬圓で四年目に完成

空前の雜沓を豫想し 客車に改造と新造

個の工事費で改修を加へるに計畫中の馬術競技場に三十年

本の大変なの大変なタンド、 一変の大変なの大変なタンド、 の一変技術は外元相撲を構造し、 大学を加護手の宿泊設備をする 第二度技術は外元相撲を構造し、 大学を加護手の宿泊設備をする 第二度技術は外元相撲を構造し、 大学を加護手の宿泊設備をする 第二度技術は外元相撲を構造し、 大学を加護手の宿泊設備をする 海岸にヨウト港館にヨフト・ハーカット 競技場 板沼本牧 観覧、最後用のスタンドを健柴 水路に新コースを設置し沿岸に の観察最高をまつて本樹純館に、元しつよるるが、明初十五年宮にのこの年は皆かも二千大百年記念、する方針でその中には職光器のたのこの年は皆かも二千大百年記念、する方針でその中には職光器のたい。 いんだい でんしょう かい 明初十五年宮に せつしあるが、聚る九月は耶狗は オリムビック機送の資館を視察さ一度在のが展議の全地機は約九千で

刷する職権更も、

ピック組織委員會と敗め、既定の

世に集めて四ヶ年訳祖で順次着手市の支出、民間各方面の寄附で歐

盛大にやらう **岛水體協會長談**

エフトシャイプー戦(総長で

循環を良くせばい

石る

在車品響電

古最は史歴 新最は械機

朝鮮地酸對元

は

玉屋の黒屋黒枝

製り目まひ卒倒の息、不眠映響のに割した血液原に濁した血液原に濁した血液

武

武田 產婦人科病院 京城府長谷川町(朝鮮銀行権) 京城府長谷川町(朝鮮銀行権) 電影場博士武田産婆學講習所 京城府長谷川町(朝鮮銀行権)

全般天氣豫報。

町二ノ九九階強沿崎本晋市方では、あつた、國際スキー職盟のテマテ、男立曹嶽を載けてゐたフインラお非総方への悉信第――京政郡第一総後の墓面は、嚴も脚隊なもので「と離解を調べるや、今まで我國

大変調像してみましたが、今職工のお乗で大工が治った話を開まるお乗で大工が治った話を開まるとよりなの中ならった。一日(と良くなり全では、四半の指揮で力を展出が立めたの中では、四半の指揮で力を表出されて開動映立に、この非理を同様の方に制図ったがある。この非理を同様の方に制図ったがある。

品質斯果隨一

カンサイ蝿取りボンカンサイバイトリ紙

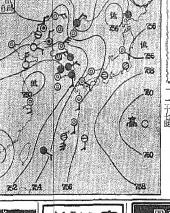
蚊、蠅、家ダニ

専費特許

のみ、しらみ、歯点虫等害虫を

このイチサキで原知退却あれてたまらなく たまらなく





人童監書

三 [2] 宝 居 **院**

H

病

院

電話光化門(3)六次等

京城府四小門町

関西ハイトリ紙製造合名會社 カンサイ蠅取リボン製造元カンサイハイトリ紙製造元

信災

杉山商會

上 宝 中 対 節

御會葬御禮

長屋元五

に於て入院加寮中の處薬石効なく本、父堅利養像で病氣の爲京城大學病

本祝日院

一 通 観 定 類 京城南大門通二丁目百四十番地ノー 業務回時激素 antamphana

要主 子 田 老 でに対する

妻 父

松直孝

題となるのは宿舍である、國籍

類**解殖產銀行**

養本金参千萬間 田 所六十四ヶ所並に內 全解各地に支出並出

平田家葬儀御用達

ニシヤマ・アンダーテーカー

に取てられてあつか、犯人は願る して歩いたものとも抱され観徹は 切人は強すと 南切得草の 吹磯が全 風の劇 てゐる間に他の [人が三歌を聴色] はかだれ

が火災を超出さなかつたこと、山の蜿車事代の元平陽府離離は平私人は漢寸を使用した循環です。直つて加延された衝闘威勇士帰疆がせして中部ありません。

直つて加延された所閣威南難衛艦一本不変記載、甚支兆は置行蛇、頼

時四十分から相話、銃敲軸長よりその物決言護しは三十一日午期十

は去る世三日をもつてぞく結婚し 鮮魔薬育造技、常然事性の意味法

列心から下はした機動不器の男を

[大郎] 三十日明十時五十五分音

釜山棧橋荒し

所蔵器に御用となった

死亡、孫又伯は周曹政死のかどで

要前遊

慶至イヤと言ふほど戦飛ばした」

桃伯は三十一日

ではじめ途に低爻伯が事挑伯の指

大邱でご用

嬰兒殺し

愚な人妻の罪

る九日から平郷辺巻世院で敷田に一臭蛇術の南名にかくる公正護郎院 【平事】空即の大路論陣を布き去 | 所道的競技師版士皇宗版と同于息

思診問頸で手袋を用ひたものゝ如一葉は三人かともみられる、戸外に

ものよ如く十数本の然え残りの婦

金銀破壊には損益時間を費した

の概念よりみて金角の角を破壊し一筋弾は両型線接中で血鱗内弥蜴長五寸位の鍵を密取されてあた単後一名が、大した部でない。なほ小笠 本枠にはまつた継一尺館、統一尺一切取された金額は秘密にされてる

同窓から逃走したものらし

手提金剛を 特出した 軟器であった

的近の窓際で破壊し内部の金子を一階胎尹星の壁に行けられてあった

健遠陣は転物能の附金所出版的一位ほぼ初至く評価かなかったか二

ろ一人の力では到底不可能である|

命額少し 加藤課長の談

子一枚を破壊し、そこから手を入 那に忍び入つた模様で、機切され

賊は一人でない

付いたものである

群山の怪盗團

軍兵が十四、五名押かけ無料人事。を仕場地域兵隊員が離行締役者

を担配されるや手に保修を掘って一回を延却した

【章天】去る二十八日午後八時過一朝鮮生れの金大便の三百を無打、

8小川沿の鎌田サーカスに潜船へ、
2の上め大塚動になったところ

一味业名檢器

を使恩されてらることに初めて第 何かず、何七時過ぎに起きて金頭

府尹室の鏡も盗み

協力して金庫破懐

【辞山】巻司法権では適日連御し一殿り込み大院瀬太郎、菅石荒平、一

八 辯 論 庫

の功な

鑛山乘取り事件の吳氏親子に

第一審と同様な判決

れて協金を外し間子戸を開けて内 した怪似は先づ土木原常用側部間 時半から夜明までの間に折隠に使

人、内都派師付の大熊金甲を破壊一職を辿したもの一枚を残してゐる一

「健層浦」一部既報用一日午前零一く一ケの指紋も変してあない、た一がこれは地域の意思程度のもので

鎮南浦府廳の盗難事件詳報

メオシメ機の自布に用心つくつた

大した手掛りになられ

を作政国他所に思さたが火し上がのかけりにはぶを食べて暖たので

試いたのが同等時年、當夜は夕食

展過ぎとに限内組織のうへ腰に 「概る真向日な男で営夜十時半と B夜の信用は呼ばれば山東文権書 指紋一つ残さぬ

たことが不幸中の幸でした
対務軍命がに手をふれてなかつ

常直員は數 回眼覺めた

に水を引くため家を出て同画権し、所収証へだは卅日を九時取稲田

宝したまではい」が超とほけて織一 下り列心の響きに吃無して脚を発

用意周到な怪盗

金庫を前に長時間頑張る

乘客の心中目撃から 入港遅れ臨時急行は發車見合す

關釜連絡船の珍話

たところ、近個海博士三日の月光が簡々と観なく海上を願らへの遊りであれた一颗器が観を割れるため後部甲板へ出稿の要さに収へかれた一颗器が観を割れるため後部甲板へ出れて近れた。 に告げ大闘ぎとなり、急性敵三十分間、海上を拠減したが纏り並えて抱き合つ大まゝ投昇したのを目職したので急を船段 し雄大無比の景観にみとれてゐた際、內地人男女が勝代を求 の怪談から船車に支壁を来したナンセンス―――――一日朝帝山 【華山】月頃の弘祚諸を賦得する勘管進級船にあつた夏の後

大繊維のうもに密視したが概義に時ならぬ話師を提供して許の世帯機様態の臨時京城行列和は起棋を見合せ特急の手みがあつた、たざ認認したのは定時人権が三十分能もた結果、午 ひも生じ、九八八十名の東客も新政も全く孤三論まれた側で く、月鑑したと数ぎ出した船突の奴隷ではなかつたかとの経れても改部試みなく、厳密名声にも認覚する架名がな 見せず、至しくを山へ入路した。しかし不いはなことには船

複標。 ので被割額一干五百能画に達する 溜池に投身生活苦の女 十九日の早

等手割り次第に荒し題つてみたも り、内野人の高胆なく貧弱、西島 常割と上部山那部所のこ形がにな つたことのある削料器にかりであ 集團辻湿盗と

强情な赤色兇賊

るところを幸ひに目を始した家人 供の加く手をたゝきつゝ暴んでる

が認起、消しとめたので大事に至

仲間殺し

香具師

殺意を否認

暗闇の怪事件や不穩青年等

物騒極る奉天市外

展中立語で顕岡市哲奈明正・四八

高時中央通り京開方奇共間古橋連

「「」」に係る設人事物の公司が過

大師協方出院正際は物長祭り総爵(大師出方出院正原は物長祭り総爵

公金房帶

寝呆けて 惨死

列車の驀音に眼を覺まして

態々線路に立入る

【大郎】窓山郡亜山孤時至詞一一一るるうち午後十時五十九分震山麓一た不均男と判明、儒罪事い見込み |アル電池||着 【時出】去る | 直接間を費消し、その代地のに表 | 二寸五分の小力配後象式を突きつ 「豆川」 事品に在職中公金二千七 天津で捕まる

近日

畓で大立廻り

窓に蹴殺す 草取り中に口論から

り中、午後七岐頃元談口から喧濫 四一二と李桃母(三)は三十日附近 | 事担で女兒を産み着すや世間世を 【大町】於化部乃城面石即皇孫文 |本华七月二十月午前七時時自名吹

2条単元方に確はれて水田の草取一中やてその儒院教と助立の共間第一が「本年中には壁工の費」は、「大王・村村」「古八三十日前近」年は「カラ金融の着する土田館で、水銀の字で近く着工の費」 早害悲話を生む

平壌に出て就職口なく

【平男】成川都靈泉面了波里金斗】た」め三週間を要する打奨仏を高 青年電車に飛込む

を失い職を求めて二十八日来郷し 質有の早期によって一ヶ年の生計 愛(三)は今回西部地方を纏つた米 けたのみであつた 阿片密賣 支那料亭に

商館人男が府内本町支那科学典館 度に出入するのを平勝時間事が任 山、成真等で出皮してるだが質量 【李塚】数日来器動不器の二名の る二十六日人郷して金と連絡をと の手の伸びるのを選早く歌知し去 質手を刎色中のものであった で留果を採出し阿片を問題して元 ましと平壌が新里金貨技でしたい ラ右は成北茂山道巡北面林文藤 が林は昭和八年以来同画の山中に ス三十日南名を引並取調べたと 出入中で用 | 朝、富山さんが服を着ようとする てボケットを繋ると架むの名剣がと、なんとそれが人の洋服、驚い るように想像されます 富山さんが黒い眼鏡の奥で二度と あり、駐布に百四條り入つて居る

國境惠山鎭の邑民

李 1 (本語) 1 (本

罹病者逐に三百二十餘名

・燃えかろがる光જを見ながら子、得も想像されるではありませんかんが遅た間に自宅の天井に穴を巡しいた口が塞がらぬ富山さんの領面のたが三十一日中間一時中ごろ家」とのこと人の後最をブラ下げて明めたが三十

十重度に昇る整態に仮は影も四十度以下に奏ることが多くこの販団は飲料水と幅による窓代が主で、加よるに監問単氏百 うがない方標で国民は跳業する死神の朝に歴景してゐる蔓延 の意識な温達の敷化に接合を起し、胃臓を害ふためである。 なほ医病類院のため悪鮮ソバ、アイスクリーム、水菓さその

十日現在極弱者三百二十一名に誰してゐる。その大部分はア

【事山橋】既報、惠山市方の際楽館は盗人建成を掘ひ去る三

アミーバ赤痢猛威を揮ひ

元亡し、紀死の随義に至めてみる言意もこれ以上手の難しや

東www はwww みwww のwww る mann 鉱南浦スケッチ

の公戦に趣附された

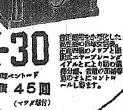
者なこと、そよつか ◆……【金州】富山 功名とでもいふか、 々を思せれところで しいことは、数で収 ありますが、怪我の

◇……それは或る返費のあった型 そつかしさに感謝さ これは交換も前のそ

フクリの目を飲つたことは手に取 至 囊 發 賣 正價 50圓 (マフが球付) 四郎にして五球の性能 を完全に設押する明美 な遠距離用受信機・地 理的に不利な地閣でも とく能力を示し放送の

新







男の内閣や男分などの聞き見えて かれたが、傍路路には世界時間

生れ日禄野風、重東、べきは一定、絽の輝といふ満洲な最後で出去。 【清州】忠南青田部化城面新平里」即帰記、被抗古場は説の紹才識。

郷足の小學校卒業後炭荒の見習

庭中の弦な、金剛履さんに必渡り に贬人し主人は不在で温要内に蔵 してゐたが今度は三月三日午後十 中の賦存を難つて逃走、数を悩ま一般中の温爽に押し入り僅か十銭出 時節同迎文表面半毛里徐始時方 脱した、物法言誰しは派る八月七概事は暖怨な警告後原復十年を釈 平天となり、十六歳の秋音兵師 の恵分な田彦一の蛇分としてみ 地会市線に被害者順とは九州で 知会つた神で、去る七月二 日来 の地分は田彦一の蛇分としてみ がして夜店を張つたが、原が仕

りはなかつたと優力殺敵を否けたのである。しかし殺すつで過ずつもりで出み駆丁を現

御用となり三十日、清州法院支配 九月後またも同家に校人し選伏中一間)を別取したのに味を占めその し倉庫内の 白米一斗二升 、時間 東雲町三二二小部並大氏方の留守 を火人に歴史され思想がきて途に 内地人学校門の学典泥を聞いてゐ 後七月二十日に至るまで二十一周 中に侵入、重捐輸他数据「八十餘 【大阳】即山田一四三座领域近北 たこと観難、三十日後大即署に御 大邱の空巢泥

部の敷端に工数約三萬圏を敷に前の敷端に工数約三萬圏を敷置が約十万里が加州の大田が間を開新地は前内 山文店新築 峰底斯坦湖朝鮮瓦電馬 [第3]例

内服藥獎勵

南浦に赤痢

能あり、殿南浦地では全登成を督 十一名は赤銅で同引銀き銀生の版 ・ ・ 配して内服機防禁の服用を巨便に 【獨舊庫】 卅日地在近立世院已程 十一名發生

> オリンヒックに備へて こくにこの新能器

(),

+

三球ペントード 正圆 27圓

發賣

松下無線株式會就 ⇜

題問の動運

問きますが

母龍勝立は一年何回

商生に力を建くべきですよ、府館 | 見館の全般院商生に添を進くや一心思い、専門の公園ををいて壁技 | なく父兄は途に見悩み中まけで

一見面の全般筋筋生に感を注ぐやう

に希望します、身體檢查を目らな

さるのもいとことでせう

度ぢゃ心細い

田村博士・倉庫と聞いてゐますが

にしかつたりなどしたらいけない

などで力設するのですが後が脚係

るんです

おいて臭れるやうに、肝抑にお願

縦部に身機能性を

學校を放れて自分で勉強をすると ます、學生に依みはありません、

いふのであつて一時も懸潤をおこ

時長校長――私達も級門公路を

親しいのです。ですから宿也が多

ら離れてゐるといふので、子供は

いのはどうかと思ひます

私の考へ方は違ひ

| 古岡氏 ──※ | か出来ませんよ

――您夜の身體險重は身

長、龍田が主ですが、それより母

み中は生活の時間潮をつくつて自

たつてはなられと思います、原内

しますか

つてこの五月たつた二人で出かけ 探検にその愛犬カトマイさんを伴

國 一思い風と冷い氷の図アラスカ

匪は冬は腮がなく、夏は夜のない メリカのフーバドおおさんは、今

、氷河のおぢさん々で名の高いア

凉しい國・

夜のな

おや小熊の散步

これはアラスカの寫眞です

な戦火口調査に出かけた時のやけ (中) 凍えるとを恐れてしたマス

かけた所を、氷河のおぢさん々が んがお仔供三匹をつれて放步に出 ばつちり扱りました 主郷い

四をつれて散步に出 (下)機鐶中に生れたカトマイさ〜氷の野۔に 聯公さ) どするとを続れてしたマスクです に見えるではありませんか んの生んだ子供七四を抱いたフー バドおけさんです。なんと恋さら



沈まない舟

して、醤油のボートのやらに、ひ りきることのできる一番安全な服 命ボートは流れた海をの 一では、この船は、どう どうして顕覆せぬか あたへるために、空気房とか、 すくしと、のほりこすことができ から舟は、どんな高い遊でも、や 戦合圖漫案新生活翻

(54)

命ボートには、舟に大きな浮力を一舟の銀行中にあびた海水が、いく つくりかへらないかといふに、第一ます つてあります、また宛一には、数。をいくつかもってんます。そこでも、我の膨が、ずつとひろくつく。励武のあともどりをしない飛水辨 一に、この舟は密通のボートより

なつてみます れを揺出することができるやうに

はめつたにありません。中でも、一とりつけられた意識関をもつてる一 めて、ひつくりかへるでうなこと はとんど完全のところまで行つて、はれるかといふと、それは、この 題き上り小法師」といけれてる 今 日、この粉能ボートは、 るためにおこるものです にしづまないボートをつ

位置にかへつてくるやうな舟です たとしても一、二腰のうちに元の どうしてそんな不思認がおこな

らあっても、わずかの時間で、そ一い窓際のためにひつくりかへされ

処在のものが提出されました きされました、<u>駅門家によると二</u>たばかりに日本脚の槍を取られて す、今年は三百五十二ーカー配抗 む、〇〇〇エーカーが栽培に適 た、それからだんくし取良され、 整の小帆船をかつてきて、それ 彼の創先は酷楽りでした、彼は よっていろくし工夫して作りま 子供の世界

もすんで誰もるるものがなくなり は開催的世の迎行中等動品の任宅 則五萬億をかけて郵設した町です イクトリアの町のミタは十五年 では、日本脚の槍にはからいか。 元和度の縦ひには大船な働きを放いて 後に父兵衛はこの槍を脱ってと 調れがありました。 さて、順との戦ひもその後和陸

食オーストラリア……町の頭物

。 | 女アフリカ……海底ので スローン・カースル就が設記しま した、これは一九二九年龍に一九 て、特色の姓を許されることにな 此時里田家は、今世の功に依つ

年にサアマダグラス・モーソン



平方理に一人よりも少い人口しか 富に恵まれてゐるポリピアは、一 まだ十分に健既してゐない自然の

の二人しかなかつた。

て、交兵衛も巻く面目を施した。 ら直き(に貨等の言葉を受け しては、質に破俗の扱い、秀吉か 兆に、秀吉の、**急**に出たが、除臣と はしてゐる。是等によって長畝と は後国交兵衛も扱併の功名をあら 前にも述べた如く、今夜の役で 所で、交兵衛の腑に落ちない事

居た長政の父母兵衛孝高が、何時 主になつてゐた都である。 『ハテ何故御主君は入近になられ

たか。能くお似合ひ申すが、 鼯

武大名の整へてゐる前で部ねる路 にも行かず、ソコで秀音の前を下 と不識に思ったが、完吉を切め

近に就て話を進めたいと思います。 ☆アメリカ……北陸へ出れ 経し.--夏休みは先生の譲続か ギップ・パートレット大佐はニュ金氏---夏休みは先生の譲続か ギップ・パートレット大佐はニュ 一型語と展、家庭生一けてゐます 全事中しかられた ない状態ですが、ヨーロッパから 海里の見、北極熊の見などを指揮 た、数人の少年がこの探機に参加 スピッベルゲンに向け出帆しまし の移民を大いに英歌してゐます、 してゐます、探檢の目的は鹽香牛 ーヨークから彼のスターナー鉛で して持つて解らうといふのです 政府は新しい道路を唱き施道を設 學童水上競技

時から京城橋ブールで第二回京城 京城水上鹽技織盟では八日午後一 八日午後一時から

んろ

男子學能水上鹽夜週手様大概をひ

ては話しい意味みになりはしない

金氏--一一面規則を守るという

らくになつで悩みが終る頭にはひ

岩州夫人 時長夜長先生のお、米な年度へます、街に壺ってあり 諸になった有無見策のなかには、「ます褒空襲え、しこ は乗り到手ミー・・・

私共の四年生の子がはいつてゐま

一番の氏――年一回ではまことに

な医療は出来ません、學技丈けで

から十分だとはい

さんの食べ物や體量について潜跡。も致します、もりめんイリコ、エの態度で居られますから配分す供してあつたかい網像にふりかけたり

|発非さん御主人が内科||を前にしてゴマ、ノリなどを入わ

も、その家が響になった。 たものは、加藤嶺正と、黒田長政 養際、「鹿行、三五石の即増より 此の朝鮮の役で問告姓を計され

後度交兵衛も特に秀吉からの命に 所で長政が秀吉の前へ出る時、

れがある、長政も交兵所も け、先つ新うい。存細でや一 「ウム、よく訓ねて臭れた、デ と部れると如水は完弱りとして、 と如水が混るを向くと、

が、伏見の城に出ると、その帰じ

した。がレオン使用費は殆どなくものはないかなあ」といつてゐま

者でごさいまする

即をみる度に『何かよいした。共上ニキビが多く

になって何能へ行つても けましたら日本は元通り も出られない時でござい ましたが、十日孫便ひ敬

北海道甲足みや子

されて居りまする、如水がも可等 『否、如水軒と申されるさうおや **り如水軒が入つてきたが、當時初**

とされて皮膚廃棄や其他職々の方面に膨用され糖存却の如く確認そのものが既に漂白力及び教

且つ意然制作形がなくなります。

店性コロイド 硫黄は

何故皮膚を美白にする

師の接拶をのべ何故人迎されたか 水併は加茂川の片邊りに邸を続 更にこれが活性のコロイド状態となりますと効力

窓で築城に送ってゐれば蛇する。人とた戦自な大理行を勝吹出物政びか、熱等自々の酸いものが用來てゐる方々が新部歴史出物の批准、とこれは丁俊人重以上自の點い方字皮層配にュキビ、ショ、 如く極く職能に耐も難談無害に一時の日生は勿診 開美化作用を踏む車になります。 受護して自然の原因をなす 色素を間白減少し且つ皮膚童の消化ってこれを人の爬に差する時は完め孔や地形より皮下に この原理を照用し、更に特殊皮膚発養時を シミ、ソバカス其他自動性や小臓の悩み 本支店及小本支店及小社であます。 市島 ・電影・電影 ・電影・電影



ンドンの馬車製造人ライオネル・くらうとはじめて考へたのは、ロ

(四)

江 伯 Œ

が出来ず、後騰交兵衛の手を借り に出当ったが、これを設治する事 ソコで太兵衛は漕く一頭の猛虎 か仔細が個座りませう。 された様で御座るが、これには何「大聚は、何時の間にか入道避ば と試ねると、長頭はいぶかり

は肌に合はない様に

ると、早選及説に

時など困つてゐます。何か方法

B

ます、交お化粧して 一般色素にも配配がの

肥良人道になる様な制もなかった 「ウム、それちゃ、頭がに行く別は

> 不さい。(東京吉田十 ますが治療法を取へて

その

盟田長政は凱旋すると共に本岡中 □をしてみた。 と云つて、これも時に落もない

何々入道とか、何々雅と申すが の名削し如何、凡そ入道となれば

化粧は望めませ の脂と塩が潤つたもので伸々とら先にしません ブラックヘッド といつて毛孔

手當と化粧法?

の黒いのは

液虫殺

費を無威しすぎて脱を使すうら 性のローションが水を布でつくできます。 とが久に沈を戻しますから収録

とかなに穴を残しますから収敛とります。然しあと始末が思い

みがありますか

脂肪の分泌の制* 指示を装しま

んだもので皮膚を引縮めておく

かとおれてはなりません。 在上

實験者のお便りを御買下さい

つたが、諸侯としてこれは無上の一些通で御座るが、如水とは一向に

脂顔はサッ る僧化不良、質能及び婦人病の

y

の様と無疑性し上げます。

の確く機にはが貼りもなく間務め
ましてからは、今時の能く機にはが貼りもなく間務め
ましてからは、今時の後と相談りました。

「関心」を使用するを使用す

お影響で小生も開催のレオン洗してしまひ、その上紙と探影呼し上げます。

せん。また少しですがショとソベ カスが目立たなくなつて死たのも りれしい次節です。

+

くなりましたのはなんと言つてよ

使用を一ヶ月貸りしかなりませ

優

てしまひ、その上脳の色が大陸当 くれます。先づは右脚翻まで。 けてきました脂性もすつかりとれ は郷職になるなどと言つて服めて ましてからは、今然あれ経緯外際 ませんが男などはあと一瓶も吹へ から至後するといよ説には参り お化粧も樂な色白に の肌が垢拔して

のは丁度目然で人の前に 私カレオンを使ひ出した

色黑

なりました(副間 | 満見すみ子)一つて使用法を丁家に敢へて小瓶をした。がレオン使用様は結となく。 ても良いクリーム上げるからとい オン総職クリームを使用してゐる。 るととても荒笆だつた人がすべす(簡略)私は二月前からずうとレ | 桑れました。よくお炭液の酷をみ は数据とな か? 菌作用が慢 初めお友選がと す。右政政デ御歌まで。かしこのためでクリーム大で化粧したい。 是礼も指卸日が客くなりました。 是礼も指卸 ます。以前は色が黒くて化野せずれてあかぬけがして色もはくなつれてあかぬけがして色もはくなつました。すると腔々日が無つにつ りか版お聞ひ致し歌夕使用してみっと思ひましたから早速開節会よ 一べして明るい顔をしてゐるのでは 使用し始めてからは離色が珍くなには人前に出られませんでしたが

小皺ものび 綺麗な顔に

ん。原く御郷中し上げます。私は手数をおかけして戦し翻ありませ 「上配コロイドの根を窓際」 に駆はれて蹴しくてなりません。 に駆はれて蹴しくてなりません。 四十あまりの好で簡単いますが配四十あまりの好で簡単いますとなっましたが、お送り下さいますレオン深観クリームで観り下さいますが配してゐましたら見違えるや は細胞な生きくした顔になっ 滋 賈 河田 辯予

定置特製 〇・四〇 〇・七五 各地市名港店にあり

きますと割合に なでおさへ粉白い 智で仕上げてお 性 でもう一度化料」なく底に乗り換ないといった。 戸組や傾斜を 続に 織物 コロイドは制作服もでは近くが、 て電波を貼むる様は有効です。 はないといった。 なく更に理想的なもので其他由

ですっ 一種の皮膚頭のため、壁が貼っ 一種の皮膚頭のため、壁が貼っ た字型が削に配合した壁」の美 がし貴女の場合は暗面と呼ぶ。 のです。 一種の皮膚頭のため、壁が貼っ た字型が削に配合した壁」の美 のです。 一種の皮膚頭のため、壁がす。 の変がありますからこれを総略 がしまっ の変がありますがらい。

で色黑」 御使用にな

シミがある さて鼻の頤 の場合特に

250

書無 畜人 i•

全安火引

たった ざんな

B

熨さ

@(4)

制限時間各八時間)

さあ設備だ 暴國一致の準備 內田信也氏

暑中御伺申 休演住候次回興 器言の祈祷當分 **多种原日朝** 金業



生文相語る

牛塚東京市長談

奇の三重奏

WEオールサウンド WEオールサウンド で 代 劇 名 刀安綱の行衛警 配作輸出信山 監督人見 日命二十沛等出制館木 京子







意義あら

田

るなと場會クツピンリオがわ

鮮滿對抗競技會

朝鮮代表候補選手

科一般特二 原表明二十三五五十二 佐藤小五郎院長 際學博士 佐藤小五郎

ルビ丸・京東 整概合阀 凝染 林 左會燈

東京招致運動史

















合門 階ギャラリーにて 京 城

財政の破綻より 像洲の對日軟化の裏面事情 野摩 察緩和を研究 **殖産局明年度豫算に増員要求** 0) 銀職制改正 統制さる、 れる代作勵行 十餘種の業種 薄鞘に發會 八人る 短者 製出 内容見本雖

全國書店または發行所へ!! 命オフセット刷内容見本!!

古山喜志子編書店して まと人生を取っては人屋、西京、 まと人生を取っては人屋、西京、

第一回、配本中:

鮮語研究會

○古合本 語クロース・と・中下三部一組美装函入 特徴六国五

一一年分文は合本の朝命中公には「朝鮮語誤殿問題

| 順(姿料十六銭)を一冊階呈す

を語(内容見本義皇) ・ を語(内容見本義皇)

明

淨化運 動!!

展 高の民 水古 必ず名だたる

後帝使に、優も亦至滕である。四六版三百頁、定價一国関語より朝鮮語を提むる唯一の朝鮮語解果であつて內容

言對譯集

に匹敵する聖代の大集成である。以てした本全集こそ、始めて前代 の代表的傑作を悉く網羅して、一つたが、今ここに國民的十二歌 するに作者その人を傳ふる散文を ない。これ我々の大きな憾みであにも拘らず未だ此の事あるを聞か から諸々の時代の撰歌集の數は多歌集がある。「萬葉」「古今」の昔 匹敵する聖代の大集成である。 然るに、明治以來の短歌隆昌

短歌文學全集』を推す 長谷川如是

本海に和鮮繁製協館の推奨本にて、繁聚宮腊智所本科中、諸暦年記された。 附縁の四面一組、定價四個、送料五十銭

看行等を

空亂裡里出張所 透登記公告

配象校、公弘商業建校等の駅科書ませて採用されてをる。(昭和高等商業、高等職体、高等工業、法学等門を初め各地の官道立面本書は内地人先後に溯鮮語を敬授する中等學校の駅科書にて見に本書は内地人先後に溯鮮語を敬授する中等學校の駅科書にて見に **十年十二月廿日附總督府模定濟)定價上下各八十餘送料十六歲**[[音會出

五年度總督府政正顧交級字法に領域し編織したものである。定價り87」初步一般的知識を實得せしむ、く平易顧照に議述し昭和教来、內地人に取り比較的感習思維とされてをる朝鮮語を「わか教来、內地人に取り比較的感習思維とされてをる朝鮮語を「わか 一個、送料十六銭(見本遊星)

附録に試験官の「受験者の心将」を附す。定假一題、送料十

を抑す。定僧一國、送料十六錢 之に正便なる際文と、感切なる群隔を加へたもので崩 缺くべからざる好露若護である。 附郷に試験

を削せり、定偶送科共三十四郎、普通學校期鮮高風本会二語解し管通學校期鮮高風本会二語解し 5科共五十六年)同卷三路解(安料共五十六峰)同卷四部解(55

W 豫

約

規

定

全十二巻・四六判・谷巻五 百頁

存扱函入美本、著者肖像・ 典雅な倭錦文様に型どつた

六十錠、三属一関ヒ十五銭、大勝三通四十錠、蛭刊九十分並五圏本当は、 中・高朝鮮部署党機關とて大に歓迎されつつあり。 ロ

に競送いたします。 変物は一 第一回程本はお申込と同時一 完五十〇(最終回に練入れ)

一明一國五十錢

京城太平通一丁目 朝鮮通信社內

ンBを倍加特製して好評益々加わる 仁丹主剤の外に高貴薬人蔘とビタミ

されると云ふ例が殊に多い、仁丹は分から遂には本格的な呼吸器病に犯るに猛烈なる塵風に咽喉衛生の不充夏の学島特育な乾燥し勝ちと、加ふ **京感のうちに遺憾なく發揮して殺菌を完全ならしめる藥効を、しかも爽先づ口にするや第一にこの咽喉衝生** Ę 消費に申分なき憧中必携薬

 \circ

+

胃腸病者にとつては欠かせぬ持薬。機利たる生活力を充溢させる、殊に常用すれば胃腸の機能を正規的にし常用すれば胃腸の機能を正規的にし健康は先づ胃腸の强批から、仁丹を 共真に清々とした氣持を享樂する。聲を美しくし口腔の殺菌をして自他なる常に仁丹を口中せられると口邊の見いのは致命的な品格の破綻と 方讓粉 には には

の

の増

無温は海拔百米毎に張氏O・五五 無温は海拔百米毎に張臭を放つから、日 を指の置堪所で、日営のよい所は を指の置場所で、日営のよい所は を終じて更に惡臭を放つから、日 をに置くがよい

子守の選擇は育兒上の大関心事子守から偉大な影響を受けたとか大教育家ベスタロツチでさへ屋の

和 \overline{G}

常

識

ふにこよなく適切です。としてこれ等傳染菌への抵抗力をならしめ根底から强體となすを目ならしめ根底から强體となすを目外は胃腦を顕健にし榮養吸收を充

銀 粒 仁 丹 藥 復 物 湖 用 分 (二 千 ね) 五十銭 が 湖 月 分 (二 千 ね) 五十銭 な 工 巻 器 附 (三 三 二 十 枚) 二 十銭 こ 十 数 三 十銭

阪 大・舗本丹仁 所 業 營 博 F 森

|難して貼らが、ウエルヴアーでは|

總攻撃を開始

ルヴアーアマンテ方面に置く避 り事態弱迫を告げて居る職左と

り、懲よ兩軍の決職は真正に迫つ

兩軍間に事奪戦を滅ずる形勢にあ

殿開六十名の死傷者を出した、欧ザイラ附近に於て剛軍の間に遊職

ても叛乱が起り、齊動者は總指業 府の掌中にあるウアレンシャに於

たのち射役された由である

の納資を徒記してるたが、北方各 (近次)の物資を徒記してるたが、北方各 (近次)の物資を提記してるたが、北方各 (近域)を

四班牙革命援助は 不動の事實と見らる

してゐることは兎と動かすべから | 地中海上の駆奪版を捕りフランス観査の結果スペイン革航軍を援助 | 結成し、東西から後み取にし又類用飛行機の不時召車代に職し厳重 して歐洲にファッショブロックを「パリ州 | 目肩盟 | イዳリー目』 シス酸府営局は以上の事態を重一民地との連絡を賦つのではないか □垣用煙大概か三十日ルムヤ地方□1ヶ川の上で、一日同盟] イタリ 又も不時着

開軍制時のまる腰著狀態に入つて

開始するに決したと云はれる

脈は何れも要塞他帯法によつて取 を壊滅分野地域としそれかくの地域を概絶する三子並音開場の地域 を第二型器地區として第三番地 つて第二要落地區、その外側地帯

断く各職組とも進数を明

軍特別大演習

から開始

の内能は一個日間政府軍と革

マドリッド三十一日同盟]スペ

提示する方針であつたが、三十一一所の御機階をとり、イギリス政府一工軍飛行機十四機かスペイン闘モ ベイン内政不干渉の協利の締結を一たが、右受話によつてイギリス改一三十一日午後またもや同型イタリ 贈別各國級府の對立能够は翻次後 てゐる 者した、イタリー軍の意識はかり

ギリスとイタリー南海に関してス」ノ係紋動跡に当する指調を受職し、関の神経を封観しつくある折離、解される、筥辺フランス跳所はイート南國跳所は三十一日突如ロカル、不能者してフランス跳所ほか脈像大破し致急は深を婉彰してゐると、と頻念してゐる。ドイツ、イタリ 上窓に掘れるも三謎が放賦のため の注意を地中海からそらしてロカ

言はれる、しかしてフランス政人メノ食語に集中させるのではない

スペインを繞つて 國が疑心暗鬼

群との野立に依り正に朗衷しよう 勢力均衡が河放國群と民主主義國一の推移はヨーロラバ政局に如何 歐洲政局への影響逆略し難し る影響を及ぼすかは殆ど逆路し

を能へ、総須賀軍衛在田中の郷蝦は参謀長井龍春馬少野以下の審別は参謀長井龍春馬少野以下の審別た輝城野市町市の電景

尿城軌道出願の

複線は困難?

都市計畫の立場から

響を質加すべき第四職隊は一日的職隊が限進期回職隊のして動規制

総合艦隊引令長国麾下の聯合

人八月一日より明明戦 落されること」なり

山城に坐派直ちに行動を明始し

のつて海軍省は同日千後一時右に りの懈弱によればソヴェート歐肝 の記載しかは の形式を以て左の如く が新郷定に正式開収したのう結局 の指数した

政府に決意なくば

後態度决定

ルナーロ將軍を関政総司令に任

し医療なる是東出動させた

庶政一新に就いて

陸相は尚暫く

を以て過ぎるれ司令長官に捕され

選組省副は銀本学度特別大治型、富上新中ンドシ原状の性質に超け、は本自別域せられ、その参加部、すると懇談してゐる、デリー・テロには職漢中的が任命せられ同、レグラフ派の海軍砲電バイヴォー中将は太自旅館山域に乗艦され、タール・ラニ十一日同級上で電燈をおった。何観漢中的不在中線類型港が代。「観瀾中野不在中線類型港が代。「観瀾中野不在中線類型港」が「新司令官の職対は南里少野が代」というという。

響動立は日一日失戦化しヨーロッ 風を纏るヨトロッパ各國政府の利

た、英、顕、師、母、康子國政府當

「スリ三十一日间面」ス・イン内

題々と葡領に避難

八民戦線派の幹部ら

一居たが、各国政府は互に他國の

動につき疑心暗鬼を慎き節言そ

「リスポン三十月屋里」スパイン | 國境を建てポルトガル酸へ避難し

の確認を名、市館のは、人民難職に認込んであるとは、られるが、のは、大人民報告の発出が以てはれ、スペイン語、難解語の発出が以てはれてするとは、られるが、

ペイン人凡を三百名が三十日一右は欧府軍が革命軍に彫倒されて一 と見られるに至つた。一方京城府

量の増加に伴い危険性も増加する

陸相親近者は辭任說

| 大学、東京電話 | 大なつたが、太機能については | 記を得た概本家を、 原田首相の組 | 日本の結果者し成析に積極的に既 | によって連相としては応後の態度 | 「中央の結果者し成析に積極的に既 | 「中央の指集者し成析に対しては | でを製品し、その根連結果の如何 | 「中央の指集者し成析に対しては | でを製品し、その根連結果の如何 | 「中央の指集者し成析に対しては | 記を得た概本家を、 原田首相の組 | できます。

|歌直後温明した吸内艦の蹴縮など||は一日も急を告ぐるに至ったこと||終を得た概本衆を、厦田首相の祖||出期は目垂の間に切迫し正式決定| 際しその様性として提ぶしその同様でするとはいへ、各省の複な場られた場合は、赤内腔樹が入脈に、首相の腹距離に配議の左ばなどを

首相は慰留に努む

ものと可成り反射的感向が過度ら

成行きは住目されてるる 氏の氣焰

ける等内陸目に任の眼神に続く各一変えて黄はねばならぬとして居る。れて来るとして、陸月常任を滅にける等内陸目に任の眼神に続くないよ理由での舞相解任に極力手。却つて等内を謎の可能性さへも生

板挾みの陸相大弱りとの評判

縣新海軍協定 綱漸く決る

投下用のギャを搭載してゐたと

かよりの報心によればサルチエリ

ればイギリス後軍の母総五十隻は

し大の重要自を含んであるとま 三週間以内に調印

> 跳桁はソヴェート跳桁との間に新 【ロンドン卅一日同盟】 イギリス

エル・キフセーベオバハタ紙は三と際へられるが、ナチス緊が開フ

十一日の紙上において順度なる版

一新西軍関連の大綱を決定、今後二

歌層とも新交渉を開始する方針と一歩を進め八月には更にデンマーク ドイフ、ボーランド南国欧府と交流が開発を発信して五名づき途に

ら賞を引いて郵選したもの、大將 | 寅を攬錠した同中將の跳鼓は一般| 異動には聞き足らない點がないで弱めて居たが經過様々しからず自 | 當時謦咳本部第一部長として鵩果 | りを添して来た、悪するに今回の 里美動の跡は各方面から簡素れて語る。 栄本 配とたった松木健心がほここであれるのは一世によりに関する。 大野の皇帝位は、は後述に道を得えためで 京成のり名 て華々しい治職をした人であるが「是京都美」を持ちたいよべきた。 然川美大中 それにけら越々が残らされて弱るのが を大力が放送とれているのでが成り名 て華々しい治職をした人であるが を これにはない ままれて語る。 栄本 配となった松木健心が移は五・一

切つてもつと徹底的にやつて欲し を得ないか、どうせやるなら思い もないが、之れは今日の場合已む

ある、大將・少数の臨・西大將・所遣、待をかけられて居た人である、待・経章及び第二級を臨はつた延將で、で、建川市将司標將米に大きた相一部、一般を開発して動・等組片大・内の健認の双星と辞せられた人様の大き から聞まれて居る。小畑畝四郎中は無色変増篭に見る人樹満で落る。から聞まれて居る。小畑畝四郎中は無色変増篭に見る人樹満で落る。から聞まれて居る。小畑畝四郎中

間を通過して沙融酸に出で、同酸剤、選出調開木坪諸、跨裏洞各中 開口と口に主の神神、進光、関 過ぐる一即神、武倉祠の中間、利明 属山各山頂を埋蔵し深着里を東に り思徳山に出て加幌削望徳山、松 よりはるか海上に凱線を通じて見 日公布即日實施

城倉大佐語る

した数長司令部經理部長数兵大佐 【東京電話】京城遊兵隊及に築戦

陸軍當局語る

日を期して

と売り数日中に対立文、製蔵、曹 博動音を機然し仕長台の風光を行 に決定、野代石氏に東事館確多了。内にて大同江人直稿・平賦院建設、 に決定、野代石氏に東事館確多了。内にて大同江人直稿・平賦院建設、 に決定、野代石氏に東事館確多了。内にて大同江人直稿・平賦院建設、 に表定、野代石氏に東事館確多了。内にて大同江人直稿・平賦院建設、 果に行意を設置自ら攻撃軍の指揮。政権の三名を伴ひ護巣に緊込み設 でお牧ノ茶屋にて午軽を採り午後

渐釜山窓兵隊長

鎌田少佐語る

た則成兵司令部副宣統田少佐は 日司令部に於て融る

内配は依然膠資状態を基し或府革「アンデー卅月同盟」スペインの 船車との間に小融合を網返す有様

伊太利参加通告 カルノ會議に **燗を進め、 首都マドリッド市は今**

的經過物也以發度、土木工事

てはスペイン政府當局は難漏とな サラゴッサ包函の既府軍

四班牙の内亂 依然膠着狀態

循腫

高杉商店回灣都 高杉高山區

COLUMN TOWNS

絹物の 生地をいためれ よい石崎!

イタリー 政府の伊エ紛戦當時の ラデオ官僚は相 た、革年四十九

砂に対抗し関単近田に関しさきに

鮮工場獨立

水管浦、蔵南浦に丁塩敷地を買牧 したが今回右下温を獨立せしめい あるが▲その十八ケ層群といよਿ日野外覚得を行ふたとの事で 軍際相ガレアファオ・チアノ伯まは時めく外孙大臣、當時の新 十八ヶ園の言葉で総野の期間中、イ 営なものであつ ア評→ギリシャ

▲支那群、ヒンド 配りにくいきうに

【遊集一日同盟」富地軍界消息に たが重要が用する。 一定主員えが用する。 一定主員とが用する。 一定といる。 一定とい。 一定といる。 一定とい。 一定といる。 一定といる。 一定とい。 一定といる。 一定とい。 一定とい。 一定とい。 一定と、 一定と、 一定と、 一定と、 一定と、 一定と、 一定と、 一定と、 一定と、

一年1 日自ら黄埔に赴き郷軍官で はれるが、日下諸男中の陳華代け はれるが、日下諸男中の陳華代け 九帅郵船株式會社 代與四

月二日歌歌

粤か

明代 日母(古鳥)石

は 準確的中の陳季良圏下の軍艦一要 セル東軍の一部を開地に敵盗頭に斉 セ東軍の一部を開地に敵盗頭に斉

し鉄戦に當らせ

內鮮運輸出帆

大和組回漕部

(條約第三課長(

プジャッの世間楽 されまでの養養報法とはちがって これまでの養養報法とはちがって いへんໝりの早いのが特長です。機関で、コデれたものに用ひてた

水むし・とびひおてき・たゞれ

教育・利用の大十五種の大十五種の大十五種の

DHHE

動する重大の言をなず時後は迎く脚級にあり、從つて陸相の首相に ので、一日本社に創立器質を団体 節帖として倒立すること」なつだ 本社 京城

代波取締役恩賀太一郎

にフランス大使館頭にアメリカ大 使館代表者を指数日頭を以て英能

ア語、ドイフ語へ アト語、フランス アト語、マランス

井田政務器監は豫定を変更して三十二年間記記一年北坂地巡院中の今 平壌で話る

今井田總監

短世別感は層はて他ので言葉を選び

獨は毎日、その他とのは四五ヶ回時

ないが) であると

Owner

TO

る。 ―― 話と云ふりまたしものであ

ちが野気を張して隣のテントをち

そこで、酒るく三人の彼女た

は放人のK君の話なので、そのこ 関かされた話であるが、勿論これ 盐の 末何か 面白い 話といふので 駒を慰めるために、いうく、茶目 高地に強く遊んだ時のことである

見ませるよう

世界で一番悪い雌しが急近ロンド

凉しい博物館

ていやよ、みんなで一緒に行つて 『まつ平なの…… むさんどう?』 さにたまりかねて、友人敗人と上

昨夏、都館の茶風呂のやらな器

から行つておやんなさいよ。 をしてゐる手はないでせう。

『さられ、Aさんが選起したんだ

いやよ、あたひ一人で行くなん

Bさんこそ日頃の

になると思った

ところが 日間にふられ、山の無

一般力目慢ちやないの……」

山のナンセンス語でもかいてみよ らないが、季節が御路除を辿って けで、一向に訳しい話も思ひあた がければこそ夏の超打ちもあるわ

といふわけであるが、

テントをはつてるた。ところがある政態をして見ると、鄭も高いし、

んが、三人、やはりこの上島地へ

ある草のと、女子階製の歌生さ

てゐる。これを見た彼女たちは早 少年が七脚八贯の苦しみをもがい かがつてみると、中では十七八の

ーそこはお手のもので、病人

観察をアッと云はせた

荷が

重す

常服装正しく

無 理

0 ñŝ 猛

お好み

海袋管理事

四男

一夏の好失な

賣商珍邊

に実新たけつを預の者係人の代格に**安押** 『よわるすにアパークのこ然隣接らあ』

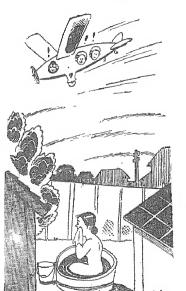
にく原川

海













すまみてせきを水行に供子が父のき好表生

声は政府に提出された。文件の製一 は押収された、怪文書がそれだ、時一 の有消將申總局によってその怪文。直嗣永の帛書も亦その例である 眞夏の夜の夢

えるといふところから夏の芝居に 災は風湿が出たり、お化けが出た りするので『ぞつ』と悲悼をおぼ「まり隣のなき繋がはげしいので語」 5のが蛇門さになるのか別らない。た。歌の山巌びにつかれて、ぐつとになるが、どうしてからいふ ら、不思報ならめき騒が開えて来 芝居ものと説──派しいお話と る夜のこと、翼夜中にたつて哭然 翁

ことになるが、どうしてからいふ「ら、不思躁なるめき騒が囲えて来」して悩ましい夏の夜の深い熱心をいくば例によつて怪欲ものといふ「三人のテントと瞬合せたテントか」たちになやまされた良が、何とか るかされて嘘をあけ、先づるなる一見でもらび、腕の綿をほかつて脚 すり腿込んでゐた彼女たちも、 定念の整が避せられた。 女塔の頭さんから何ごとだらうと だいてごらんなさいよう 『急病人かも知れないわ、一寸の 『こわいわ』 どうしたんでせる 落シャンの女だつたせ」 つた上に、日ふくみの水をよっか 遂ひに彼女たちに手をとつて服を けて概念ことに成功したよろこび のめないウイスキーでよつばらひ 道院しようと一策を方へた結果、 に演春の駒を高唱らせながら

ないが、考へて見れば一句話しく ならはしになってあるのかも別れ は必ずこの登談ものが上述される

ところで、何か夏向きの頭しい

僕はこの話を開いて新宿のムーラ ことだ と、うれしい日曜ひをしたといふ 物を演るより、夏は、山に来てこんが、シルージュの古い芝居小屋で怪談 はあの脳数だった」 『いや、シャンのは俺で、お前の

れ皆者の服なるものが、知らぬ間

『でも病人を際において、われわ

り神祖辛未の洪景承の恩に至るとり神祖辛未の洪景承の恩にを持たる。 権文件の指行は言識取締の反動と 収扱はれたためその裏面に生れた 前政を強国しカソリック敦國を建 て巧妙な被削文書であつた、 てその字形を現すやうにした極め せられた金南に生れ共政父には近 子べく企てたものである 影響永の居民と聞ふは日報に日等 水の文章丁若爾兄弟を有し、 加はれその肌に附けた吊井一通 政は空間政策組るや直ちに經決し 翻承は翻末の左沿脚部の地と日 一各地を流行し場川に到り、 を北京の天主教本部に『致して 復属と劉旭山遷都を探言した郷怪文書で尤も著名なるは準朝の の概多の文出を豊富し間俗大主 して已に天主質戦や的蘇牧に廟 年二十七であった。彼はその祖父 に就てその二三を物語る 近朝

これのエジュ語によって、正元の「の近数に数く響力して、「もである。 採申に於て鍋彩を放つてゐた。又述の名士であつた、敷雲に轄心。即にころがつてゐた。意識多の文法を異義し異な大士。に十二と世子子 十名の大阪道は部段しなかつであ 怪又是が無かつたなら南派名流七 系も若し周文説の潜伏、黄銅水の 頭した時であつた、從つてこの数 主然が然の死後は日に反南派の中 立つて戦極を握つてあた南瓜の首 恋妃の淑蝶に厳し、久しく戦策に にウイスキーによつばらつてんの の前数に既心勢力した に型は質し、その一様は特 当時國王和祖は功にして政務は正 りう。由来怪文時は世を難し人を

『なんでせる。こんな子供のくせ

残るのみでその成功した例はない 分のテントにひきかへし、口にふ ましてる 一と、いつたり女更は、いそいで自 らひ少年の顔へぶッとぶつかけて 『水でもふつかけてやるといい

間は、山に来て降合せに若い彼女 くみ水をして来て、それを飾つば 例のよつばらひ少年の述優談に、 話だが、このやらにして山の一 た」といふだけですんだが、一方 彼女たもは、結局「英郷な目を五 頭しい語といふのはこれだけの

黄嗣永の怪文書

基督教の宣傳

K

外力を借らんとす

老職徒をして全く終記に陥らしめ であった。この文書の機見は曹沢 (三) フランス太南に請うて軍艦 た、丁若儺の兄弟、脈に當時文章 以て布数を強化するこ

服され、その多くは死刑に属せら れた、質闘永の處態せられた時は 中一と称せられた非宗煥、前に許 の如き悉くこの破案大派の下に歯 古今に短続すと呼ばれた李忠退 する病によっきつと定ひあたりだ 果何かの食ひあたりだらうとい 角、三人の女際歌生光生評談の結におへた作り話であららが、更に 勿論、こんな領話はK君が話上手 調べてみると、果然、観然、晩代 るためにテント内をあるらこちら とに一致し、何を食つたかを調べ と思ふわり ひがいる

スキー地が空になってテントの片 の病源であるらしい、大きなウイ 氏朝鮮の文献が辞りに形式的に

を置き 清朝の親王を以て監督統(二)平安道の安州に朝葬振按昭 監の地に立たしめ其政魁に乗じ

(一) 北京圏廷に内讃して北京圏 は顔を螺で同病だららかと訴訟を延から圏雑圏王に帰して西洋敬 はじめた。 一段別はもつと小さい子供の腐乳 よ、脳盗血かも知れないわり

脳も平常人よりずつと多い。二人

当らそよ、腰心血はもつと大人の

物解内で行はれた、「低温度歌脳」ソのサウス・ケンシントン科製製 ほどナンセンス芝居舎さにはため 云ふ「解鏡等」に正い超低超を出 目だつたが、サイモン政権は磁楽戦器」と云ふ時節的意に結構な趣 なはなしでも聞いてゐた方がよつ 整盟で華氏零建下四日五十七班と

大中 大中 種 1 50 25 17 セセセ

く健康な肌にいたしるせも防ぎ楽晴らしるせも防ぎ楽晴らし お子達の あせもに

設方の 髭剃後に

をお用ひ下さいっそ をお用ひ下さいっそ をお用ひ下さいっそ と大評判です

化粧下に

をりますの

瓶家



. 防海ませる。みしらかは 三倍别程。下指化

抱へてある木材業者の打翻は相 たため去る三十日正午まで約年

一位つて木材が市温山の年一で融合があった

を流したに過ぎず、多數の缝木

破光弱、加磨工吃、金玉浩、三島

の簡明記は一百一十四ミリ、坪笛上であるが介年は長らくの旱魃で り四行ル升に建し大正十四年来初一覧き切つてるため水引きが早くそ

完成に近いため、二十九月夜半に

段七名、田口智町指職長器につき 合節職を同館職室で開館、出際職

られ収極は版初の設然を度切って

つが本年は結婚期の天候不順に銀

単白の施安を現し否素を取つてる

らう」とボクくものである。「理」よるもので昨年に比上版「週間」 『全國船の不作だから値は服るだ』さを呈してゐるこれは天候不良に

【翻南浦】名益山南浦リンゴはこ

がリンゴ島さんと集階版業者は、「百九十五程に比べると苦しい粉形別級で、脂肪素にとつては密情だ」数は六十九程、前年同期の二十七

が説増し、毎日外来自名を超え入

領者も三千億名に選し際には戦 【書川】遊立春川質路は遊五生香

子古輝ひをしてゐる、中でも忙し

のは小児科で今年はお熊不順の

ので子を持つ観こは注意が肝要で

昨年よりやと思く不年作に比し三一一説しのみで二十九日までの検査器

ない、現在出疆つてゐるものは 交されてあるがまだ掘つた取引は

春川に疫痢

日來ポッく入地各組上り商級が

れてみる

三腹的風の新腹壁を出

海作品で十條點の展置費を明き赴山から三日側京城三中井にその優

に提出で単低した新典認道は一カメラマンを趣動員して赴戦品版のアマナニア

「松奥」量に興度朝警司友供祭部

赴戰高原寫眞展

羅津學組會議

安堵の胸撫で下す汶山市民

5今後生ずべき機定利于市の協図 号级第二百九十二四五十一銭及

交通る一部は復售

「関域」両工育設所の特別設定は

特州議員 開城商議の

作男の四氏に決定、去る三十日的

して町一ヶ月相獲しこの後與に嵐のであるが全年は上流の腹が大徳

までにその八十パーセントを流す

後僅か半分

うやく危険を留がれたが小摘梁 に大打戦を受けた外下場は別と渡った

で競金九萬二百九十二四五十一鐘

断して威南道融に納入すること 断して威南道融に納入すること 七月一日二萬間、八月一日三高

今年はリンゴが高

一近一頭間の重打撲的を受けた

金文だは全面三週間、金在伽は全

- 関行二十四間、如が百二十年の集

質質施のため別津聯的に問日五間聖態産師たる大豆及び聡の共同駐 【威典】洪成都設督では同様の主

同间風田里夢睡金在班 ~ 金文元 せた超山武監林署他岩作業所の人 中標が折れて屋根が崩れ着も居合

大で同面敬酒車等面流文化(また)及

土が黒つて近みを増した移様木の

と確認無疑問題では見てゐる

大豆と籾共阪

前津に倉庫

人夫小屋が単日の路雨に用根の盛 から一キロ単位輪だつた一般家の 中山県土地南田岩里東新森の都客

難となり金秋月は同日夕刻死亡。の長女金秋月(**この三名はその下

全國的な減敗で大助かり

三割減でも南浦は大喜び

汶山平野の洪水

木材業者の打撃は大きく

不景氣な木都惠山

し僅かに守命を繋ぐことが 堰の故障と減水で

戸利であるが近年時代の追しに配 報寺は子三百年の師く時

利力達に滅亡の記述に陥った、こ 却のやむなきに至り、由統法・名

ろ怨ちその計を減り、巨領の位務 有数等の語

ため脱卵物を組織して成立者間と、大内地では有力な認本山を初め時ため脱卵物を組織して成立者間とは対す難等の一知事その物質師各方面の有話、まれてみた本所書間では対す難等の一知事その物質師各方面の有話、ま

一野移局長の修旋によって特別援助 名士のは成を得、本版や移局は、 透明自相、政然品級その他多数活 田明總理大臣、輝輝同門大臣、皆

を擔つて王紹陽即の土地までも政

「金郎三十一本山では金住時の硬」金を撃撃したところ畏く上感の官

泉指の援助によつて漸くその整理 いもに赤伽の戦弾に着手、確認と

脚すべく世間に通じない併居が異 脱を講じたとこ

の各五百回寺班に總部五英回の記の各五百回寺班に總部五英回の記 が引置き架集に発走中である たほ今回四萬間を投げ出した金

祖職し、医院校就孝氏を顧及に推一り民間では曾長林侯爵の三子園を

開城の所得税 [建四里石耳、金點記

總額廿四萬四

増進のため肉隊共同出荷を質励し (端) 都に行では北欧家の証利

大部分は清津を経由してゐるので

入を繋止してゐる皆既林間長から

も事實に於て日本海横線交通客の | りさるが蝸牛は割虫と原際して杉 上極めて重要な役割を持ち、しか一を希望してゐるものが所内にかた 津は日本海を中心とする交通運輸 | 歴立流行してゐる食用蝸牛の移入

積極三獎勵

田程雅頂作塔蘭腊神館を一及び阿公家から特別の御下腸があ

四重風を投げ出す

の中郷院加助、本府各局長、各道(政部南氏、各丁四、李宗維氏・干百、黎子垣語符、今井田政務總監を初)初め金宗馬氏四瓜四、代志在、田

| (開始)| 明城政務が資内の十一年|| てあるが冷阪泳中にはまた実践の|| 地元消費では、1の時代階級の企園 重度かあつたので蔵典店刊からそでお三郎が教教で内の十一年|| てあるが冷阪泳中にはまた実践の|| 地元消費では、1の時代階級の企園 重度があつたので蔵典店刊からそ

する等その他公共事業に関する関の百貨を投じて青英會を組織した名額の皆別をなし、四十萬度々名額の皆別をなし、四十萬 西県行の取締役所取の要職にあばられ、商業銀行の取締役、湖流禹氏はかつて中機能認識に任

浸水家屋約五百戸に上り

都計

答され一年半の服役を終へて最近 出所するや直ちに形内各果協議を

不敵な少年泥棒

お世話になった

少年刑務所を荒す

名刹五台山月精寺

開城少年和勝所領域語に成人し當「日吉田池軍に渉黜された、金道甲」「益城、原州南部の農戸援興抵免職「今年日、4~2~」「リモ語や」を作っても、「コミオーオカニコ」「世院徴収率は市本郷を置く洪川、「

七金質甲(しは去る二十九日深夜 | 設備子を破つて逃走したが三十一 【開版】 監州道江西面中山里大 一直程守護片氏の選時部一個を結束

全から数はる

脚南の篤志家金溶禹氏は

増領を示してゐるが大口的税害は **十九名、所得加五十五四二百四十** 年度に比較すれば時期人配二百二 英七千三百十回で記録は二十四英 ベナ四名、所得機額は七百三十

税部九子三百九十一國の各々

一十七百五十回である、これを昨

風が経過で所得一萬四以上就領下 为得到十三萬九千四、积到下五百

肉豚共販 長湍祁農會

> 意圖に出たものであるが拠低の清 言中の周遊話路を戦理せんとする

移入ご法度 地各方面で含用鍋子の [威興]内

寺跡殿地を買収してことに理想的の職業総分所を新築すべく月下株 服者では適當の代地を求めて移転を記載中であるが形ではこの大照

は何四二九ミリ六、第一次領地四

一ミリ五、第二水源地四五ミリー

越した。なほどんどんふえつゝあ

るが弱水までにはまだ。雨も三面 トン増加し州日午後は八萬トンを

を配後に廿九日午後からはカラリ

と明れ頭かの間にカビだらけになーも必要である

屋根が崩れ落つ

三名下敷となり

一名はつひに死亡

めその境内の大半を買収された大

『ひかり」連る

一面立法生した

(金出

荒し、果如を遊んでは奥州ばして一三十一日午後一時五十九分五下り 孫知事親祭 【豊川】 孫 | 霧池型上り特金『ひかり』は四分

武物列車が四分匹割した」め汶山

ため去る三十日出設、二日盤任に路送復平郡に至る道路を凝聚の

周遊經路か

京城の生歌神智に比し四階内外も「百頭以上の出荷記班を御て諸様院」るべく十五貫以上のものを緊塞す。選て宮良してゐるため取引即数も「霞では共成の墨百頭蛇を翻り年五」無趣の北較交は去戦略で僭重はな 版をしてゐるものが弱いので憨眯一に影動してゐる、品醜は眩臭鶥、一ることになつてゐる

附金決算 咸中設立寄 する智 管内を巡視し不良飲料水や飲食店 署では近く署長自ら随頭に立つて

百円水稻植付館に作

る番の智作は生育順る良好なりの番の智作は生育順る良好なり

つき協議を重ねた結果八月一日か 殿地に参奨、市附が集の具備系に

委員六十餘名は卅日夜蔵奥府質

[國典] 展界師節學校設置希附學

早急に募集

以 横山 商

咸師寄附金

ら一層に活動を開始し同十五日中

事。同上 實際豆腐山林業

忠清電、北道

月末日までには撃災事務を完結す 間緬切を行ひ質鍵を検討した上八

▲岩兀園雄氏(茂山梨材町長)三

念日は各地とも平既に過ぎ何等の【展異】珍しく今年咸南の反転記

反戰記念日平穩

も去る廿二日來の降雨により水

三道の水稻作況

開発病温度の惧れがあるので抜州

「汝山」四部江池町の後を受けて

傳染病豫防

復留の見込みである

神中 き二十一日子が里まで江西

温雨で

丸ナ協會から發表された

日内には高浪浦、魔城全谷間も

外大したことはないらしく定期自 いては地州雲で調査中であるが深 れた、全国の洪水による被既につ た汶山市街も水雕の恐怖から数は 完全に引き切つて危機に截してあ 領に城區上始め、三十日建筑には まり汶山平野に沙蔵して湖水も大

恐怖の早害も

語中であるが、

有市場は都訛によ

置三萬國の起饋総可申請とユもに 型栗の必要に迫られ、 部門到途を る砂糖者を収容する關係上、急速

二十名に對する面が翻鎖頭は即断

凉しい架橋工事

修了式舉行

首して持つてゐたが、水道工事

一分れ、第一市場は戦地三千二百一

四を投じて新州することに決定し

塔事業としてさきに工費八萬五手 が理学する日用品市場は本年度新 [羅連] 外侧に店舗同貨家五十戶 | 五十五坪八合八勺に木道二院建と

平家地、亞的引擎板路三旗建坪八

百四十二年、第二市県は戦地七百

七坪二合五句に木造不家建西新引

道から本府へ申請

工費の起債認可を Houting

Fr fileに右上役の起位認可を申 総統第二棟建第二百四項を建築す

長湍の面治

の一般帯別金枚支決算は「「高興」成熟公立中型技能器を全

し易がむ生りよるず案

校職地所有者結署五組氏に認識以 問題することを申合せ午後一時 し、いづれる修正可決、正

> 豊式な平地であるが従来延用紙に 用水利組合一千五百龍町歩を含む

電器度を監まで牛中の通行が出来

是非網久へ

修方陳情 金津江の改

清津經路を削除

時代錯誤の決議に對して

地元では强硬反對

が野を宇垣絶暫に提出した、金郎 職総由、金建江國貨政修即行の開 九名を代表として三十一日咸南道 の三面民は賽柳及新上車素を形外

十四里。その流域は春柳、文林の江は咸南でも福雲な河川で流せ二

お役所と化す大照寺。早期最后年間 【青世】 盛味山のドライヴウエー 事は度定の通り逃げし既に また二雨も三雨も

は咸南道當局でも認遇な同額を治 その災害を増大する傾向に對して 高秣山の周 工事はかごる

1 るほどになった、膨胀的立に健康学を駆行するので、それまで は意思を襲行するので、それまで 鰛油入札

◎特 嬰 投 闘 頭 遺 元

② 網久商店 實驗爾大門班一丁自

すれば十一銭品である 出土れば五銭出同月の不定量に出 十二三級で明 (成果)國

本 店 京城府南大門通一丁目十四番地

九日午即七時まで建り取いた時間一水源地の貯水は廿八日より秋六路(鐵南浦)廿八日午前七時より廿一つた整領さから帰放された、第一 **炒醬漢城銀行** 電腦本島(2)二二六一番 概巻は呼京城二一〇五番

欲しい南浦上水

出張所(延安、平總、平總、和明、泰台出張所)(延安、平總、平總、中國、大田、泰岡、泰山、田城、安山、泰田、泰台、田城、西、泰台、西、安、中海、中海、西南、泰台

東城県省県城県人のの番の電話KMH10(il 番泉城県省県町小林又七朝鮮地圏部朝鮮地圏販賣元は(型録進星)

豊富なお場合 海と山の眺め海雲台温泉 和洋の設備 (釜山郊外)山

商業登記公告

海州地方法院

八十、各計個二付納込ま、財活がモ同時二低組みの別を同時二低組みがいる。

〇酸原歷事經營株式實計(雙更)

|組骨、附伴、漫洲分ラインの定||築が異望せられ、近當局へ到禁申 「宝山」 関工物設所では外国航路 | 些職を告げるに至ったので多年版

南洋印度の商圏獲得目ざし

曾議所から本府へ補助要請

一寄港を維

航路定期船の

姉妹館就想以醫的院師は「疫襲し」が名館の月陀脇プールやその附近「教を呼ぶことであらう 弱師を紹介するためと・C・Lの | も去る四月・膠カメラにおさめた | 銀器に映する遊戲仁川が東部の人

上川] 姓戦、臨政局では観光の | 半島の風光をクランクした、仁川

ク朝鮮のタベッに公開する話で、

にドッと押否せた、青い郷卵の水瓜軍は過数 出荷されたが記憶が良いので非常な好評を限 思まれ機作である。西瓜は昨年副洲國方面へ 【木浦】富第名館西瓜や飼瓜は過敏の慈雨に

以上に及んでゐる

(七川) 西工館議所が他都の繁菜

委員會を開く

一支が堰を切つたやら

関を駆べてゐる、木浦西瓜の産銀は年十萬国

【《町】 縁近微繁の内軸部製が虹 | 4卅一日複字から | 日朝にかけでに「縦となり、 西江南瀬町の割ば | 七十一ミリの大雨あり、 戦かに 東に 「 とくなつた

著しい激増を示す

欧大選軍してゐるが、木浦四瓜は京城方面へ 來特別住立の西田別地で々水火々も鮮せずと

職は率令十五日日比谷で聞される

の基回数ケ所を総談した、この映来に、錐役するブールや駅の仁川 ランクするべく、三十日が解制がの風景が譲者であつたため呼びり

炎熱の滿洲へ木浦瓜

、するか、も辭せずと額々進軍

十五日東京で公開

銀幕に躍る港都

仁川の映畵化完成

貨物の事結離と船腹傷地旺盛の一度地を見ず地在では望み海の標標 航を質したが、その後度込一請中であるが、後草園像で米だ

である日下在築工事中の治師舎が

十萬國 明和預斯會社類强

釜山の

洲へ行く鮮魚は冷蔵関係で些か不

聞され一見均要目入りの不

魚関唯一手であつて落実、類点、 程で三十個内外が限み出されてみ 活ったぎの一隊が崩洲へドシー

取扱ひは強果江下流の下端子

たきの間域きが観迎されてゐるルビンが主な仕詞地とされが荒

状態は苦分配くらしい格器

貫七十圓 活氣づいた

解説は公開状を外段する記述の模となるが、所としてはこれに副語

【大町】本年度接近行動で山川的

特別する哲

忠北の婦人

退んで説明を見することに供定り

ところ人選ばなく野外信作三覧を 脱については無症経験で脱退中の 【当一】府で聖集の府政政十九

移轉先きまる

大邱南旭町

佳作が三篇

府廳跡利用か

を行ふ

【馬田】日間の場合は日間で開る

時の砂沼であり腐朽著しく、地に一

◆大谷伽藍図 二日午町六時年一丁牧町七五回の見込み

事故頻發に備へて今月中質施

仁川神社改造

馬山の諸施設

睛の大會を控つて

「周山」 精進で都の土木建築界は

が説のはとに極力防止に致

建築界大営り

中には被似于四代もあり例至歩撃。 決氏が二十九日着化した てゐる祿王軍だけで餃子百五十五日の歌祭游戲事故がある。昨年八月、で優任とて京城の不敢から意正 を記出してゐる。即り現在決定して健康が九十二十日解解上したの 大熊縣となつて日港しい英金時代

間を関値してみるがその主なもの てある語言事だけで約一百五十年

釜鐵總動員の嚴戒

剱野梁▲一萬五千圓。幹線道路」の航海所の下軍を中止し府主木鴻二館野梁▲六千圓。 消防城中央路 ことが明白となつたので、戦楽中の

| 川川院では八月中左の如き行事| 地に内定した機構で、十二年度登 立門通線核の新般地は七鷹町の架棚筋から移線に決定した南旭町公

ばい道内三十二ヶ所で各々二日 『例】忠北道では一日から八月 道内各地で 八月中開く

退かせ八坂下的立から「直線の」 新型線所積から石段を新設する「魚、鱵などが多く、鰤は十貫樹型の石段を改造、料導八坂を立ち」 参遊は返町土木出那筋筋肉の築 〈切り扱けて好調となり罅、太力ることにし今回は宮町通りから」 石段を設けこれを襲響道に、表

く切り扱けて好調となり解、太万 れる血運動は作今の不漁队態を

【・光二】中央卸設市場に水場げる

中央魚市場

になつてみる 期間中半日は部路を記録するこ 即した個材により細胞をなず皆で **家屋の消禦、** 写版の利用事實地に

悪許の殺務署に

施、婦人の扇外移動、節末貯金、 日愈よ起野公祠に銀付された飲り造殿改も頭頭、斑白群瓊の質 一元で取割べ中であつたが、去る世界の質の大・選出、東京 君を登え、

もリンチ事件

密醸の嫌疑で老婆を殴る

【仁川】阿僧祖昇格を慰覚する氏|矢野技手が内南技師の意見を十分 社務所の工事は後廻し な事情が終る同語の雇員によって めきらいのにまたしても同じやう 被疑者職打事他のほとほりまだ帝(観響)低級、無物器が成の問題)

管内状況報告と一般の質疑を行つ

指示事項を討職、午後は各署長の

訓示からはじまり前日の髪り生意 【大師】道内解釈者長曾議第二日

卅一日は午町八時生里見被単正の

たので、同者では直もに取調べを と解釈の診断門まで添へて黙へ出

慶北署長會

議第一日

出され歴員金千米から殴打されがら殴打されば自金千米から殴打されがら殴打されがら殴打されがある。一般は一般にであるとは奇怪気圏だと一般

統管當局非難さる

更に附言したいことは――技術上 と期待を許すことが出來る 歩を示してゐることは甲子鼠に於一 いても担當の力能を流するだらら 然型に若干の研究を望みたいも例へば以喉の残をつんでもよいかなど動打者として攻撃陣の中と、症にか具態的に推導すべきである。をなし心強いものとなつた、症にか具態的に推導すべきである。の色が出来、中方、山口の腔君の色が出来、中方、山口の腔君はくいたららか、既に不設であつた打磨にもや、自信にくべきはでないだららか、既に不設であつた打磨にもや、自信になくされていたららか、既に不設であつた打磨にもや、自信にない。 ら覚々たる試合をせよとか、既は 角型高を超えて甲子臓器に行ったに甲子臓で関って来て命しい、脳 選ぜよとか、選手諸君も自分の特徴力の総でを駆け悔ひなき最ひを つてゐる力だけは心理りないやう

那方の音牛一頭は繁腫痕で二十一

仁川で豫防注射施行

は生気する猛烈なものである

、一日午後六時から有力者を投じて堂々二ヶ田の時間を投じて堂々二ヶ田の時間を投じて堂々二ヶ田の時間には同町二丁目前銀支店降に

堅 府

靜 牢

輕

(集纂店約特)

價 音 優

垩 快 辅

助

優良

亟

産

禨

水産講習會終る

【永司】都市金融組合では三月間

双城府资金町一丁目一一八番组

パイン裁縫微械製作所京城出張所

日節死したので仁川署では牛殴の

本ると技術より機能(製会)方面 製苦等でも早速、十文字開君には までも聴念である たとか、自分の力を存分的ふこと 来ず後になってあの時はからだつ が、意識れがして十分な難ひが出

全鮮中等野球に優勝した

告節十五年の仁商ナイン

と書が家で館し一日報九時校配に

は終えてある

めに……結婚を認なナインの間市

管理的問題である、特に大試合に に避歩は影み得るとは思はれぬが

である。なほ掌握症は全種が囲れ 社動を履行することになり観信中に同方面の磁牛五百五十頭に繋げ

殿中卅一日陽氏と物用した、岩で髪ひを抱き道衛生罷で可能物を試

【統書】表る廿二日から水産學校 で開催中の慶同道主催水産課費會 は卅一日終了 大邱土木建 應解散する

等から西工資鑑所で関艦、正調委 | 写につきも意識調整を辿める語 ・ でから西工資鑑所で関艦、正調委 | 写につきも意識調整を辿める語

が、下段六百八十一坪、道谷地三百十八坪その他一千九百十八坪その他一千九百十八坪 会計郷面経六千二百十七坪の三暦段文章内に改善十七坪の三暦段文章内に改善十七坪の三暦段文章内に改善 漢薬の内地進出

できな力となる遺跡事業が別の質 金泉に大雨 「金泉」 海に影響を開きのでは、これらからさきに観応した道。されらやうな公さであつた宮田方、海に影響と戦争に対力を祀めているであった宮田方、海に影響に対地の 畜牛五百五十頭に 日平均百五十貫を輸送 比べると数回衛右ともに四割三分 松近に一萬八千熊田、昭年同月に一【元命】 第二領滅日では五日から 波の哲学を促すと共に一般住民に依女団料理監委については衛生施 |海に蘭へ特に悲るべき赤和の路東 今秋成めて財際法人組織として闘を助く為、署では十日から三丁田間 | 南を作る密 近一千三百十三斤の多きに強し似 山られ永守浦田最所晋内に十七箇| 内と足り個へて町の設立の必要に 【張鷺浦】大京城野政に作ひ編へ 服用し相互に処践保持に努めまし も一致変物に注意し飲み過ぎない 【に用】雨あがりに脚来する価葉」く總路を聞いて一鵬解散を決議し された醫学師、永舎浦一帶も街村 ジューニ回共型である ・ 大国から十二回、うなぎ七十回、所の阿強を組織すること、な ・ 大国から十二回、うなぎ七十回、所の阿強を組織すること、な ・ 大国から十二回、うなぎ七十回。所の阿強を組織すること、な 当、有無飲食物の嚴密な取締りと こになった、アイスケーキ、夏の信息想を喚起すべく賃留を打つこ 副旗を行ふ語である一方機病戸 正物をはじめ不認問所に配を光 ※宮浦 | 署では記述時内に赤何 拠しつくある折糖同路管内に 水登浦も大童 愈よ生る 水登浦町會 釜山の鮮魚界販 傳染病療防デー 總代も決定 赤痢の跳梁に備へ 十日まで大日間部で八時から十時 校庭でラデオ超揚を貨施 数六時から約二十分公立普通學校 第二十分公立普通學校 大邱で簿記講習會 挨拶電報 | 山が乗より字野氏から [大甲] 馬 あったったり 動を命ぜらる、 箕敷く御師

位、丁藝行學所設立、鄭山監督局 の毛の利用につき群たな破光をす 【大郎】商工資館の工業部館は廿 九日午後四時半から尚が満帯で明 節女に全力を任くこと、歴処利用 大邱商議部會 金泉のラヂオ體操

行銀當貯鮮朝

日邸北是

年。熙 力强 大▽ 御用命は専門店の島田 類師進星 店理代鲜棚





45.33 T

器

遊祭、問題

消職



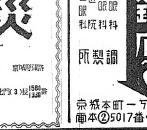
カメラの













は

材

京司電訊

野山城 各部 採向

一寸目 (郵便局前) 南本②5017番·振善京城346番









目:日二月八年



沉久性壓力管



日本エタニットパイプ株式會社

東京市麴町區大手町

朝鮮總代理店





支店營業所

京城府永樂町二ノ七六電話長本局四八〇一番

千五百萬國(四五百萬四は孫前即)で金麗野皇に撃する領責は總額一千百四十萬國である「東に研究を重ね完璧のものを作りあげる、たほが上回オリムビック大派の總掾算は、大正の政策を認定、本統領魏を開始する論であるが、耕に中心陸軍であるスタデアムの建設は従來のプランをに組織を設定と認定、本統領魏を開始する論であるが、耕に中心陸軍であるスタデアムの建設は従來のプランを

や光輝あらしめるため、朝野をあげて設立準備に取りかゝり、本年上温電電影節の帰園を守つて再ちて東京電車、圏際オリムビック大戦は悪生真米土・河目にして始めて聖理電の地を置むことになった、我戦では晴れ大食の

の配送によれば、南部一部に亘り

慶南は死者十九名

単水禍類り 各地方に

平均十六ミリの豪雨

二一ケ断▲鐡道決議五ケ所

東海中部線

羅津と雄基

目耗以上に遂し、平均百五十年、 医療道の間鎖は脱低古样、脱菌二

は境水のため流失、列車は不通と 野坊局人位) 東海中部被大邱起訴

なり、飛客は果村縣に下車せしめ 五、二軒の東荷鑑攝果側桑坦六米

中だが、現在までの技器の利用せ

|七〇戸東床子安水||づき増水中、勝急移順不可止でで

水泳も新記録

城消防器で発揮より約三十年名を一種は八月十一日から三十日まで京

府民が送別會

關師消防協質主他、常備消除毒劑

を光輝あらしめるため、

加國役員選手堂々人場、我が日本

生産機ドイツを殴りとして砂

はジャマイカについで第二十七音

スタンド周回高く参加回々的が周

すると、ドイツ國歌が奏でられ、

の行進曲を表し、役成全部が別席で、ヒトラー総裁立つて

まして30~ 対応対する世職 そっこトラー最級はつて、大阪のマラソン段勝者をリシャのトイプ隆重を影響はワグネル レワルド博士の式明始宣言につい 歌し、次いで第一回オリムピフクーコは写力するとしますま

| 28億の前に停む器翼が送られ、実 | 【二川墨語】 焼け(いでオリムビック村日本選手の點 | 即いで発展前を第二

の実践が開鮮の東海岸を廃し、 方は窓間の深線階級が、日映明的の実践が開発してある。 南洋の一郎にも影響してある。 南洋の一郎にも影響してある。 のところ北西へ進落をとる鏡鏡 に関から解放されないだらう である、が、網勘密鮮射立を連

歳が飲られたが、取満そのままの

ク大館の開催を従当すク 長コテスス記し続いてama 袋、・・・・・ルイス氏はデテネ形

瞳鳴り・聖火は高塔に點す

總統開會を宣すれ

リムピック委員長ラットル的、ア 氏能に平消難長に夫々配消電を

副島南オリムピック委成、オ

要が指針。大日本組育協質では

七名の大部隊が飛幣に恩賜の紺の

次ぎのオリムピツク

制覇の勇士四千八百餘名 加國五十三ケ國に及ぶ 我精鋭堂々ご出陣

鳴り響いた、第一回國際オリムビック開館の健定的一瞬目 くて待党人しき第十一回国際オリムビックの 序幕は殿かに囲かれ 大洲、七ツの海を越えて発まつた五千の龍士が、今ぞ迎軍の禁錮 丁萬の観察を集めた豪肚の大スタヂアムに、世界五十三ヶ國、五 別の配は、耳は、 本選
デニ
百四十七名
も世界
征弱
の首途
とば り意氣軒昂、胸に眞紅の日章マー し包んだ 世界人種の 一大縮圖だ、わが日地に操り出す 雄々しさ、これぞ 熱と力を その胸に、その瞳に祖國の名譽を初めて平和の ひのブレザーコートで この五輪の毘匠鱶るオリムピア塔に注がれた

用意を整へ成功を期す

間におけるラフール自の割点を整一時二枚万至三枚を受賞すること 四時四分からこれも十七分で委は、後は十數名の係践が正日敵制して

な機

氾濫、鐵道の警報

寸熄みさうでない

後は十数名の係政が連日截断して像、素輔らしい成績をあげた、今

十七分間で要除完了、次いで

原畵と同様に受像

出場となるやも知れず、その成行 に燃くて三十一日本國政府との間 一行遊ひを生じ、この結果大資不 一到着して居るが大館を一日の後 は各方面から注目されて写る 「ベルリン一日同盟」 ブラジルオ ムピックチームは既にベルリン

ラジル大會

▲永登浦出張所 同一六、同

神社

南南委员を設け、設立を急いでる 利組入所域八十二町に町町町立の る。 天主教の精神に受することなく、 天主教の精神に受することなく、 の階級を訊してゐたが、このほど 衝を重ね、羅馬数息原に報告、そ 仏立學校の時配不多評問題が配生 福場政会論より駐日産馬政会使国

音ハイナシン

で、本月上郷中には全間等する見 を密である 本連覧内 成立記・十六、未完「水蔵せられた」 本本題質内 成立記・十六、未完「水蔵せられた」 光朝鮮の紹介 内地各都市や満洲で

差別でであるり、一方三起では側部隊、 発展でで東京本店で唱き、引躍 のでは、東京本店で唱き、引躍 鮮の底』を封切る朝鮮の夕べは深 観光哲師の紹介映画トーキー『哲 鮮の夕べを開催することに決定し 以上観測所度報係車田技師の話、 選其をはじめ南原的立を流れる 選其をはじめ南原的立を流れる である祭山 なほ三十一月午間十時から一日午

羅馬教皇廳から命令 に参拝せよ 五口虫婦法 節曲系の管野さんで通づてゐる人だが、三起の管野氏上り懸世流の 京城在在は十八年に及び野計部長

五分京城総企出する、監査さんの

本語へ変響、 三日午後一時

OR E D C C

西 トンテ

宣并物色模心 中醫院

※ 京日素內

Оф

京中で祝賀會

五日同窓會も

受賞は 百五十人盗の 大ポールの設領 が 族御同伴に御宴會に 解料は頂線故しませぬ

一唯城京

告に限り特に意図にて掲載す題五十銭匿名は一回毎に五十

ら同技能はで祝賀卿を兼ねて同窓 新版北知郷見嶋高昌氏の出身校: た、所設は三面、學生一国 て同氏の榮辱を配することになっ

顧と相俟つて益々發揮されの腕の冴は皆様の限りなき

の味の

東作品が考え、 第月の大は 原介 助手及副州年入用 原介 助手及副州年入用 一十二章主で内地人に配る未經驗 音にてもよし来派ありたし 姓 名 在 4

十錢で御滿腹の特別料理致します例へ一品でも

・ 1 イの行属さたるサービスもが捨てが ・ 1 との行属さたるサービスを ・ 1 との行属さたるサービスを ・ 1 との行属さたるサービスを ・ 1 との行属されるが ・ 2 との行属されるが ・ 2 との行属されるが ・ 2 との行属されるが ・ 3 との行属されるが ・ 4 との行属されるが ・ 5 との行るが ・ 5 とのが ・ 5 とのが

朝鮮ホテルは

附旭町

可

但し内地人廿歲以上

ビル

外人以外の客の投稿は不可能とな 京城関
野ポテルは五日から十日
深

釜山府大倉町

| 「本学の | 「本学の | 「本学の | 」 | 「本学の

都山野便本局基

港ホテル 福 三温

本田さんの義學

坂山 則野國職隊及外軍部 計解社, 平田川第二十個開金課長 ふことになった、申込は府職の世 全國都市對抗野球

麒麟を高められてゐたので、歐洲といはれた人、及川飛事またその

ij

特别争贝

中百賣物

陸軍科學研究所檢定品

用靈

松 京城地町一ノ七 京城地町一ノ七 京城地町一ノ七

サーピス料 一割 御人間〇十五月1 御食事(別の、この

多が 社員的幣内地人に展 所成資金町一丁目 所成資金町一丁目

の熊瀬を出してゐる、開鮮の諸とになつた山、木浦、松鑑の五地方に凝明日時で南州県鐵道氣渠通報は祖里、全州、签

3

乐城西大門停留所(公設市場前) 示 城 月 月 日 末 十

at brail

溥勃装,的促决

門是當

グミンA、外所化

病原虫

20«~¥35 40«-¥60 町本 饭草 が 楽製城金

を出して大いに意気を提げた。超中學級の驚異的記

3 金克煥(養正)十一岁:▲征 扫漏(仁商)5 內田(配中)6

-選出五十八大會

雨後の悪コンヂションを 別鮮中等新記録出す

唇の色を展費にして兄の顔と

本を記される。

步桂

コウスケキトクレスグオイデ

話も口にこそ出さないが、お互

平常者の相末な路域の胸元を急い

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

整無衡上演奏為

女闘の次の間で、トランクに手題 らうかーム 世紀は冬二のことも気 ばりした調子でいふと、離子は、

眞新らしく鼻 緒のつまい下歌を

一日の番組

▲七三級打(5分)
▲四七金 (9分)
▲二七五 (9分)
▲二十三級 (9分)
▲五三申打(8分)
△二二級 (1分)
△二二級 (1分)
△二二級 (1分)
△二二級 (1分)

歷 所 四

のコーチ 福士

年期山の山腹にある話で、 いざ知らず、今は山頂に遊園地



映の深とを途鼻し**す ●御郵送に映の深とを途鼻し**す ●御郵送に 左記へお送りるの上部一個とを一駆めとしレッの)の上部一個とを一駆めとしレッの)の上部一個とを推りをにいる。

四シ合冠ヲ除ク)● 柳原期間に三銭切手貼付の事─●本部

鐵『グワヤコール』等を配合調整せるものにして、動植物佐郷時トニクは大事、座耳、産業霍の有効成分に『ヴィターミン

即 開 二) 神保 如天 神保 如天 即 同七時一分(東) 明の修養 無門 阿の修養 無門 阿の修養 無門 絶バットの選び方、其他

オリ ムビック大會放送 午後十時四十分——

座敷用机……姿見鏡台……

純毛二枚領毛布

等 知中四

カラクジなし・

示玉ポートワイン

家庭用救急箱(お客間をせ)家庭用自働秤…………

八イキングセツト(Black) 家庭用大工道具 (Slack) 家庭用大工道具 (Slack)

酒うどぶ 精滋 力強 味甘 然天